

## まえがき

『ICU 日本語教育研究』第 14 号をお届けいたします。

今号には、2 本の研究論文、5 本の報告の他、当センターの主たる活動であるサマーコース報告、連続講演会およびシンポジウムの報告を掲載いたしました。

2016 年度に始まった連続講演会「読解：認知的過程から読解教育への応用まで」は今年度第 4 回目を迎え、公開シンポジウムでは、国内の高校で日本語教育に携わる先生方と、情報や問題点、課題を交換・共有する機会を持つことができました。2018 年度は、「日本語教育における『学びのユニバーサルデザイン』を考える」というテーマで計 3 回の講演会を予定しております。

また、2015 年より教員一同で取り組んでまいりました CEFR (Common European Framework of Reference for Language) に準拠して作成したコースの到達目標および can-do リストも掲載しております。まだ中間報告の段階ではありますが、今後改定を重ねつつ、よりよいコース運営のために役立てたいと考えております。

2017 年度サマーコースは、103 名の受講生を迎え、つつがなく終了し、その報告も掲載しました。実施には学内外の多くの方々のご支援をいただきましたこと、ここに深く感謝申し上げます。

なお、2018 年 4 月よりグローバル言語教育研究センターが発足することになりました。新センターでは、今後も日本語教育に一層の貢献をするために、より研究・研修に励み、さらに多くの情報を発信していく所存です。今後とも皆さまのご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年 3 月 1 日

日本語教育研究センター長

金山 泰子

本誌の過去の号は、以下からダウンロードできますので、ご利用ください。

ICU リポジトリ : <https://icu.repo.nii.ac.jp>



# 目 次

まえがき	金山 泰子	
論文		
日本語の褒め言葉に対する返答について —語用論的選択に見られる学習者のモチベーションに焦点を当てて—	助川 愛	3
文学作品の用例から探る応答表現「ええ」の様相—谷崎潤一郎『痴人の愛』—	金山 泰子、二宮 理佳	17
実践・調査報告		
日本語初中級レベルから「映像読解」に取り組む意義 —集中日本語 B「映画紹介プロジェクト」の実践報告—	浅岡 信義	35
第一言語／継承日本語話者である大学生のための日本語読解教育 —2016 - 2017 特別日本語教育読解授業報告—	金山 泰子、藤本 恭子	45
日本語教育における適応支援—初年次教育としての役割からその先へ—	澁川 晶、武田 知子	55
日本語 2 コース報告	金山 泰子、保坂 明香	71
ICU 日本語教育課程 日本語 J1 - 7 の到達目標について	日本語教育課程	79
夏期日本語教育報告		
総括・文化プログラム報告	半田 淳子	85
教務報告	尾崎久美子	88
事務報告	事務室	92
講演会・シンポジウム報告		
「どうすれば読解授業がうまくいくのか—学術日本語を学ぶ留学生のピア・リーディング授業を対象に—」		99
「日本語教育の高大接続—日本国内の高校と大学における日本語教育の連続性を考える—」		100
活動、教職員一覧 (2017 年 4 月～ 2018 年 3 月)		
活動		103
教職員一覧		103
執筆者紹介		105

